

とらごら 議会だより



工場で働くおかあさん

2017年 (平成29年) 第 125 号

11月1日 発行

■ 9月定例会	ページ 2
■ 議案審議の結果一覧	3
■ 一般質問	6
■ 委員会の活動	14

平成
28年度

一般会計 特別会計 決算を認定!

平成28年度
東郷町決算審査意見書
一般会計・特別会計
基金運用状況

自治行政の実績に関する調査

平成28年度

平成29年第3回定例会（9月議会）が、8月28日から9月21日までの25日間の日程で開催されました。

今回の定例会では、人事案件2件、条例案件5件、平成29年度一般・特別会計補正予算、平成28年度一般・特別会計決算認定、請願3件、意見書4件の議案を審議しました。

すべて原案通り同意、可決、認定、採択しました。

審議結果については、3ページ結果一覧表をご覧ください。

平成28年度歳入歳出決算総括表（概要）

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		歳入歳出 差引残額	
		金 額	収入率	金 額	執行率		
一般会計	119億5269万円	120億792万円	100.5	115億3422万円	96.5	4億7370万円	
特別会計	国民健康保険	43億5088万円	43億2143万円	99.3	41億7845万円	96.0	1億4298万円
	国民健康保険 東郷診療所	1億3370万円	1億2808万円	95.8	1億2212万円	91.3	596万円
	後期高齢者医療	4億6111万円	4億5470万円	98.6	4億5268万円	98.2	202万円
	介護保険	22億9773万円	22億5597万円	98.2	20億円9929万円	91.4	1億5668万円
	下水道事業	8億9106万円	8億9215万円	100.1	8億7827万円	98.6	1388万円
	旭ヶ丘団地 汚水処理事業	380万円	382万円	100.6	315万円	83.0	67万円
	小計	81億3827万円	80億5614万円	99.0	77億3396万円	95.0	3億2218万円
合 計	200億9096万円	200億6406万円	99.9	192億6817万円	95.9	7億9588万円	

※数値は端数調整をしてあるため、合計が一致しない場合もあります。

平成29年 第3回定例会議案討論

人事案件

教育委員会の委員の任命について

(全員賛成で同意)

任命された委員 (敬称略)

近藤万友美 石田 守良

賛成

石田守良氏は、(株)東郷製作所をはじめとする企業に勤務される中、子ども会役員、浅間神社氏子総代を務められるなど、地域との交流を深めておられ、教育に関しても広い視野をお持ちであり、適任である。

(石橋直季 議員)

東郷町開発行為及び土地利用の調整に関する条例の制定について

(全員賛成で可決)

賛成

本町の、大きな財産である緑の保全、とりわけ愛知池周辺のこれ以上の開発に規制がかけられる期待と、宅地開発において良好な住環境の実現で、町の更なる景観美を願う、多くの町民の思いを叶える条例である。

(加藤達雄 議員)

議案審議の結果一覧

9月定例会

議案名

※議長井俣憲治は採決に加わらない
○…賛成 ×…反対
太字…討論があった議案

議案名	審議結果	石橋直季	國府田さとみ	新家光江	西尾隆男	加藤達雄	いししいゆみ	加藤宏明	若松孝行	水川淳	井俣憲治	加藤啓二	近藤鑛治	若園ひでこ	門原武志	箕浦克巳	星野靖江
教育委員会の委員の任命について※	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命について※	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町開発行為及び土地利用の調整に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東郷町個人情報保護条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
東郷町税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
東郷町都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
東郷町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町一般会計補正予算(第1号)	修正案	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	×
	否決 原案可決	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
平成29年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度東郷町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成28年度東郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成28年度東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成28年度東郷町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
平成28年度東郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度東郷町旭ヶ丘団地汚水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【請願】定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【請願】国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
【請願】愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※同一議案名ですが、個々に同意を求める人事案件のため、別議案として審議しました。

東郷町個人情報保護条例等の一部改正について

(賛成多数で可決)

反対

新産業の創出のためと称してビッグデータの活用を進めようとする国の要請に従った条例改正で、個人情報保護の後退につながりかねない。

(門原武志 議員)

東郷町税条例の一部改正について

(賛成多数で可決)

反対

町の関与・指導監督がない認可外の事業所内保育事業にかかる固定資産税の特例措置は、保育の公的責任を後退させる事業への優遇措置であり賛成できない。

(門原武志 議員)

東郷町保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(全員賛成で可決)

賛成

条例改正には、増加す

る0歳児・2歳児の保育ニーズに対応すると共に、保育の全体定員の合理化を図るため、2園を統廃合し新しい保育園を設置するためのもの。「英語あそび・数字あそび」等、新たなサービスが加えられ期待できる。

(近藤鑛治 議員)

平成28年度東郷町一般会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数で認定)

反対

町長の施政方針でも触れられず唐突に提案された道の駅は住民の理解は得られない。学校のエリアコン整備や公共交通の拡充など目の前の課題を着実に進めることで、住んでみたいと思える町をつくるのが大切ではないか。

(門原武志 議員)

賛成

新規2園の開園で保育環境の更なる充実、安全安心面で、主要幹線道路に防犯カメラを配置し、

健康づくり事業では、鈴木スポーツ庁長官視察の名譽は、全国的に認知され、「新たな100年を作るための施策実行年」決算であると評価する。

(加藤達雄 議員)

セントラル開発事業と道の駅という2大プロジェクトを成功させた暁には、その相乗効果で、これまで無い賑わいと活気を本町にもたらし、自治体間競争に勝ち残る町になることを確信し一日も早く実現することを期待する。

(箕浦克巳 議員)

平成28年度東郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数で認定)

反対

課税方式の変更で、減税となった世帯は660件、増税となった世帯は157件で、7割もの世帯が増税になった。高すぎる国保税を下げる姿勢が見られないため反対。

(門原武志 議員)

賛成

年4回の夜間休日納税相談実施や各収納対策により、毎年、滞納繰越額が減少し、高い収納率を維持していることは高く評価できる。今後、予防事業の推進と適切な医療費の給付を両輪とした事業展開を期待し、賛成。

(石橋直季 議員)

平成28年度東郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数で認定)

反対

制度発足以来、2年に1回、保険料値上げが繰り返されている。一定年齢以上の高齢者を別の医療保険に押し込み、医療費増大に合わせて保険料を決める制度では、負担は増える一方、年齢で差別する制度の廃止を求めらる。

(門原武志 議員)

賛成

今後、団塊の世代が制度に移行し加入者が増加

する。安心して医療を受けられる環境づくりは、高齢者にとって重要であり、加入者それぞれの状況に寄り添った丁寧な対応に努めていただくことを要望し、賛成討論とする。

(箕浦克巳 議員)

平成28年度東郷町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

(賛成多数で認定)

反対

町が決めた基準による地域支援事業が始まった。社会保障費の総額を抑制するために始まった制度だが、要支援者が訪問介護や通所介護の対象外とされるなど必要なサービスが提供されるのか、質と量の両面で懸念される。

(門原武志 議員)

賛成

若いもお元気で過ごせるよう生活支援事業を推進し、地域包括ケア体制を構築。主な事業は

生活支援サポーター養成講座や介護予防教室の実施等、より良い暮らしを地域で支える仕組みを目指したことを評価する。

(星野靖江 議員)

平成28年度東郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

賛成

(全員賛成で可決)

市街化区域での住環境の改善、公衆衛生の向上や昨今では震災時におけるマンホールトイレとして災害に強いまちづくりに役立ち、魅力ある「快適で住み続けたいまち」の実現に向けた下水道事業の推進を高く評価する。

(加藤宏明 議員)

原案

平成29年度東郷町一般会計補正予算(第1号)

(賛成多数で可決)

賛成

15年もたてば全国の3戸に1戸が空き家となると言われる中、本町が定

住人口の増加策のみで生き残っていくことは不可能。交流人口の増加策は喫緊に必要であり、その道の駅事業の歩みを止めないため、原案に賛成。

(石橋直季 議員)

修正案が、中立公平たるべき議長から、議案へ



道の駅候補地

の意思を明らかにし、議論をリードしたあげくの提案であることが残念の極み。まちの目玉となり、故郷への誇りと愛着につながる事業の停滞は看過できないため、修正反対。

(水川 淳 議員)

平成32年度「道の駅開駅」までの計画も出来ているが、本町だけで出来ることではなく、国・県・その他多くの方のご協力を得てなし得る事業であることから、止まることなく推進して頂くために原案に賛成する。

(近藤鑛治 議員)

元気な愛知を支える国道153号線沿いの候補地関係者の理解を得た補正予算である。

また、検討段階をホームページ等で公開。

例・防災機能として災害時の物資供給・活動拠点や民間アイデアの活用等工夫があった。

(星野靖江 議員)

どの自治体でも、財源に大きく影響する人口減少問題を抱え、これに対し、反対意見を乗り越え

ながらも積極的な施策を行っている。これからの栄えある東郷町を掴み取るための「道の駅」のチャンスを手折ってはいけない。

(若園ひでこ 議員)

修正案

測量委託料、調査等委託料、設計委託料を削除する案

(賛成少数で否決)

賛成

そもそも東郷町に道の駅は必要ない。規模も未定で、土地購入費、造成費、施設の建設費の総額も財源も不明な段階で先へ急ぐことは理解できない。以上から道の駅関連の歳出を削除する修正案に賛成する。

(門原志武 議員)

敷地面積がパブリックコメントでは0.8ha、決定した候補地は2ha、民間提案公募では上限4haとなっている。道の駅の整備方法も一体型か単独型かも現時点では未定。根本となる部分が明確になつてから慎重に進めるべ

き。

(新家光江 議員)

本事業が、町民との可否を含めた意見交換を排除した形で、実施ありきで進められていることに強い違和感を感じている。それを抜きにした実質的な町費負担を伴う補正予算案は認められるものではない。

(國府田さとみ 議員)

意見書 第6号

道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

(賛成多数で可決)

反対

道の駅は議会の総意ではなく道路財特法の補助とは無関係。道路財特法は道路予算総額を決め配分するための法律で、限られた事業しか対象にならない。道路財特法存続ではなくストレートに道路予算を国に求めるべきだ。

(門原志武 議員)

※「一般質問」とは、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策議論です。

- ①新家 光江
 - ・成人保健について
 - ・第7期東郷町高齢者福祉計画策定について
 - ②水川 淳
 - ・道の駅について
 - ・市街地形成に伴う環境変化への対応について
 - ③石橋 直季
 - ・都会のオアシス（道の駅）について
 - ④いしいゆみ
 - ・自治基本条例について
 - ・東郷町避難所運営マニュアルについて
 - ・セントラル開発と道の駅について
- ほか4項目
- ⑤箕浦 克巳
 - ・高齢者の集いの場について
 - ・口腔ケアと健康づくりについて
 - ⑥西尾 隆男
 - ・公園管理について
 - ・道路・駐車場の整備について
 - ⑦加藤 達雄
 - ・「東郷あやめ保育園」の開園について
 - ・通学路の安全確保について
 - ⑧近藤 鏡治
 - ・全国瞬時警報システム（通称：Jアラート）について
 - ・本町職員の年齢別構成から見る今後の対応について
 - ・愛知池周辺の資材置場・産廃業者の状況について

- ⑨星野 靖江
 - ・第7期高齢者福祉計画策定に向けた地域包括ケアシステムについて
 - ・子ども・子育て支援事業とメンタルヘルス支援整備について
 - ・地域の資源である新たな「町誌」再編纂について
- ⑩門原 武志
 - ・防災について
 - ・道の駅について
 - ・学校教育について
- ⑪加藤 宏明
 - ・商業施設（ららぽーと）との調整状況について
 - ・徘徊高齢者見守りネットワーク及び地域安心メールの現状と問題点について
 - ・特別職の職員で非常勤の者の人選及び活動内容と報酬及び費用弁償について
- ⑫加藤 啓二
 - ・豪雨水害対策について
 - ・セントラル開発事業について
- ⑬若園ひでこ
 - ・防災行政無線（防災行政無線屋外拡声子局（スピーカー））の増設について
 - ・防災ラジオの導入について
- ⑭國府田さとみ
 - ・東郷町施設サービス（株）について
 - ・道の駅について



Q：がん検診の受診率アップ対策は
A：個別受診勧奨や再勧奨などで勧めている

新家 光江 議員

【問】最近3年間のがん検診の受診率は。

【健康部長】ほぼ横ばい。

【問】ABC検診の導入の考えはないか。

【健康部長】胃のバリウム検査や胃内視鏡検査のような直接胃がんを見つける検診でないのが現在のところ導入の考えはない。

【問】「つるの体温計」のパッケージの良い点は。

【健康部長】町のホームページのトップ画面に導入されており、利用者は無料で気軽にこちらの健康チェックができる。

【問】口コミ対策は。

【健康部長】いきいき体操教室「開催」と「ごっこ体操」の製作等で普

及啓発を進めている。

【問】サルコペニア対策は。

【健康部長】名古屋大学と共同事業「東郷いきいき度チェック」を行うっており早期に発見するよう努めている。

【問】その予防や改善への取り組みは。

【健康部長】健康課や長寿介護課が各種教室を主催し案内をしている。

*他に第7期高齢者福祉計画策定についても質問しました。



本町のがん検診のお知らせ

**Q：道の駅の維持運営は「独立採算型」。考え方は
A：町が担う施設部分の負担軽減のための手法**



水川 淳 議員

【問】地元説明会での意見は。

【経済建設部長】地域活性化が期待できるなど前向きな意見だった。

【問】維持運営は独立採算型だが施設整備は。

【町長】費用全部が町費ではなく、国などと一緒に整備することで進めている。数ある手法の中から町民の負担を少なくし、かつ町に還元される仕組みを考えたい。

【問】民間提案への関心度は。

【経済建設部長】説明会に9社が参加し5社が公募に参加表明した。

市街地形成に伴う環境変化への対応

【問】新たな治安・風紀

上の課題について。

【総務部長】商業施設・

愛知署との連携、新たな自治区の育成、防犯カメラ設置などで安全安心につなげたい。

【問】農作業への対策は。

【経済建設部長】地元と協議を重ね、各種対策に了承を得ている。

【問】既存の路線バスへの影響は。

【生活部長】住民ニーズを踏まえ、住民に利用しやすい路線となるようつとめていく。



道の駅予定地

**Q：都会のオアシスを本町に作ることの意義は
A：人口減少時代に向け税収、交流人口増加は必須**



石橋 直季 議員

【問】民間との対話において町の意向はどれだけ反映できるか。

【経済建設部長】本町の定めたコンセプト、基本方針を踏まえた提案となる。対話においても町の意向のもとで進める。

【問】町民の方から頂く意見、アイデアを伝えていきたいが、反映は。

【経済建設部長】参考にさせて頂く。

【問】対話において、セントラル開発、ららぽーととの相乗効果を生むための情報共有は。

【経済建設部長】民間事業者に情報提供しながら対話を進めたい。

【問】日進市道の駅との連携の考えは。

【経済建設部長】コンセ

プトは異なるが、引き続き情報を共有し共存共栄できるよう努める。

【問】愛知県の中心地、大都市の結節点に、民間のノウハウを活用して都会のオアシスを形成する。では、都会のオアシスが「東郷町」にできることの意義は。

【町長】人口減少時代は間違いなく訪れる。消費税の還流を含めた税収増、交流人口の増加のため、今、手を打たなければならない。



都会のオアシス（道の駅）候補地



Q：道の駅は、まちづくりとしてぶれていないか

A：ぶれていない

いしい ゆみ 議員

セントラル開発と道の駅の町の負担額は

【問】納税者である住民

の方からなぜセントラル開発と道の駅を両輪で完成させなければならぬのか。その必要性と財源や完成後の維持管理費が分かりづら

いと質問があった。セントラル開発の自主財源と助成金の内訳を完成までの年度ごとに教えてほしい。

【経済建設部長】セント

ラル開発にかかります。町助成金の全体は、10億円。財源内訳については、1/3が国の交付金。残りの2/3は、町が負担。町助成金は、今年度が1億円、平成30年度は3億円、平成31年度か

ら平成33年度までは、2億円の予定。

【問】同じく道の駅にかかる費用と内訳は

【経済建設部長】道の駅の整備にかかる概算費用や内訳は、今年度策定している各施設の規模や内容、事業手法など取りまとめた基本計画の中で示したい。

東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略



東郷町人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略

Q：老人憩の家の休止後の対応策を会派合同で要望したが

A：要望を踏まえ、いこまい館への機能移転を提示した

箕浦 克巳 議員



【問】老人憩の家の休止

の宣言後、7月末に新東会・公明党・日本のこころの3会派でまとめた要望書を提出したがその後は。

【福祉部長】会派から提

出された要望書の内容も踏まえ新たな方針をまとめ、老人クラブ連合会3役会において「こまい館への機能移転案」を提示した。

高齢者の集いの場は

【問】高齢者の閉じこもりや孤立化が大きな課題だ。社会参加や世代間の交流、高齢者が集い活動できる場などが重要な役割を持っているが対策は。

【福祉部長】身近な地域への外出や、交流がで

きる場の提供、介護予

防の視点からの支援、地域での見守り活動の強化等を課題と捉え、施策を展開してきた。

口腔ケアで認知症予防

【問】歯科疾患の予防・治療で認知症予防、医療費の大幅な削減効果が期待されているが必要性の認識を伺う。

【健康部長】口腔ケアで糖尿病の治療や合併症予防のほか、施設入所者が健康で元気に長生きできることにつながる。



機能移転が予定されるいこまい館の内部

Q：82カ所ある公園の安全及び美化について
A：担当職員が毎月1回各公園を巡回し確認



西尾 隆男 議員

【問】公園の管理している担当者、点検をお願いしている業者は何社。

【経済建設部長】公園管理の担当者は3名、遊具の点検を委託している業者数は1社。

【問】公園82個所の内遊具のある公園何箇所。

【経済建設部長】遊具を設置している公園は42箇所。

【問】公園を管理している担当者3名で毎月巡回をし公園の安全性美化などの確認は出来ているか。

【経済建設部長】一部の緑地などを除き担当職員が遊具など、点検状況を確認すると共に塵拾いなどの美化活動も実施している。

【問】公園を管理する公

園愛護会は何団体。また公園愛護会にはどのような業務のお願いを。

【経済建設部長】公園愛護会につきましては23団体。公園愛護会には公園施設の愛護の普及の他毎月1回以上の公園内の清掃、年4回以上の除草などをお願いしている。また公園施設などの破損を発見した時はその都度町へ連絡を頂ける様にしている。



ブランコ周りの安全柵の錆び

Q：東郷あやめ保育園の開園に際し確認する
A：10月2日の開園式に向け、詰めの段階である



加藤 達雄 議員

【問】同園が自園調理を採用する理由は。

【福祉部長】真人舎の食育についての考えで、こどもの健全な発達を願い、温かい栄養バランスのとれた、美味しい食事を提供することになっている。

【問】保育の内容は。

【福祉部長】従来の東郷音頭など伝統文化は継承する他、外国人講師による「英語遊び」や学研の「数字あそび」を月1回程度実施する。又同園内で運営する、一時保育、子育て支援センターは10月中旬から開始する。

【問】上城保育園の跡地利用について、周辺の住環境を踏まえ再度検討された内容は。

【総務部長】当初計画を見直し、周辺住民が憩えるよう、敷地の一部東側の見晴らしを生かす全体の約1/3、1000㎡程度の公園が出来ればと考えている。

登校時の通学路の安全確保について

【問】交通量実態調査の実施計画があるか。

【経済建設部長】来年度諸輪地内の市街地とその周辺の交通量調査を実施し検討資料とする。



東南角から望む「東郷あやめ保育園」

Q：災害時における業務継続計画（BCP）策定は
A：平成29年度内に決定していく予定である



近藤 鑛治 議員

【問】BCP策定により期待できることは。

【総務部長】発災し非常事態になり役場機能が一時停止になった場合、事前に必要資源の（職員・庁舎・資機材等）確保・配分や必要な対策を定めることで、被害、損害を少なく復旧でき、損失を最小限に止める減災効果が期待できる。

愛知池周辺の巡回は

【問】資材置場・産廃業者の今後の対応は。

【生活部長】監視の目的強化に努め、定期的な巡回活動を続け、公害・危険個所は事業者に改善を求めていく。愛知池周辺の資材置場に一部建築物があること



町内の資材置場

は認識するが違法建築物の指導権限は愛知県にある。

再任用職員の活用は

【問】再任用職員（定年退職職員）の活用は。

【企画部長】今後の町づくりに必要な不可欠な存在であり、職名を行政専門員に改め、その豊富な行政経験と高い知識、技能を生かし若手職員の指導・育成面で期待する。

Q：安心して暮らせる地域包括ケアシステムを
A：点在する介護資源の連携を深めたい



星野 靖江 議員

【問】自立支援や介護予防、人的資源などを含め、専門職間の連携や相互理解が不可欠であるが支援体制の取組みは。

【福祉部長】リハビリテーション職を交え、高齢者が地域で自立した生活を送り、さまざまな世代と交流できる施策を検討している。

子育て支援と学校などメンタルヘルス支援は

【問】学校現場の教職員や保育士に対する心の悩み相談支援は。

【教育部長】今年度から週勤務時間が30時間超の臨時職員まで拡大して全小中学校でストラスチエックを実施予定。【福祉部長】町独自のセルフチェック表を作成



いこまい館2階の地域包括支援センター窓口

し、臨時職員も含め、自己把握する取組みをスタート。今後は心理的負担軽減策として児童館職員にも広げたい。

東郷町誌再編纂は

【問】初版から37年経過。先人の知恵や知識・記憶は町の宝の遺産と認識し、町誌再編纂は。

【町長】現段階は貴重な行政資料や地域資料も含め、収集に努める。今後は遅延無きよう編纂の節目を検討したい。

Q：道の駅の規模は
A：未定、今年度中に決める



門原 武志 議員

【問】道の駅の概算規模が、パブリックコメントに付された案では0.8ha、7月の候補地発表では2ha、事業者の募集要項では上限4haとなっていることについて説明を。

【経済建設部長】まず町内で最も交通量が多い国道153号線沿いを想定し、詳細を詰めて10年後の交通量を想定、事業者募集では全国の事例を参考に必要以上の農地転用を避けるために上限を設けた。

【問】建設費は。

【経済建設部長】今年度中に事業者との対話で決める。

【問】運営費は。

【経済建設部長】事業者の独立採算で運営する。

震度7の想定を

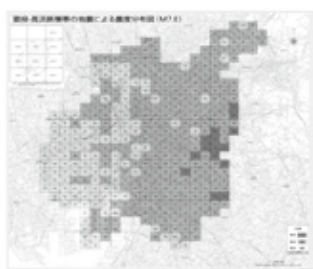
【問】猿投―高浜断層帯があるので震度7を想定すべきでは。

【総務部長】どこでも震度7は起きるが、震度6強を想定している県域防災計画に従う。

学校へのHAコン設置

【問】全小中学校への工アコン設置の考えは。

【教育部長】老朽化への対応とトイレ洋式化が最優先。総合的に判断。



猿投・高浜断層帯の震度分布図 (M7.6)

Q：地権者と三井不動産にて本契約締結、順調か
A：8月に売買契約成立にて順調に進んでいる



加藤 宏明 議員

【問】全国のショッピングモール売上ランク、ベスト10に、5店舗を有する三井不動産(株)は今や大人気の商業施設である。「(仮称)ららぽーと東郷」は、「プライムツリー赤池」の約2倍の敷地面積と聞いているが、行政と商業施設との連携項目については。

【経済建設部長】商業施設との連携は、施設内での、「行政情報の発信」等、様々な連携した取組について検討を行っているっており、現在、三井不動産と調整しているところですが、今後プロジェクト会議や分科会で庁舎内の調整及び情報共有を行い、その実現に向けて調整を

進めてまいります。

【問】「(仮称)ららぽーと東郷」との災害時の取組については。

【経済建設部長】現在、大災害に備え、民間事業者や行政、各種団体との間で計44の協定等を締結しており三井不動産との間においても、災害時における救援物資の提供や一時避難施設としての役割などを含めた包括的な協定の締結に向けて協議する予定である。



ららぽーと東郷 整地工事



**Q：東郷消防署前の調整池の豪雨対策の効果は
A：春木川での水害が減少される**

加藤 啓二 議員

豪雨水害対策について

【問】東郷町は「総合治水対策」を進めています。東郷消防署付近に出来る調整池の効果

を伺いたい。

【経済建設部長】春木川への流量が一時的に抑えることができるので軽減され氾濫の抑制に繋がる。

防災行動計画「タイムライン」の策定

【問】災害発生を前提に防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し防災行動と時系列で整理した防災タイムラインの策定の状況は。

【総務部長】先進事例の情報を収集して研究を

ついで。

SNSを活用した災害時の伝達

【問】ゲリラ豪雨など予想のつきにくい災害時には、行政の持つ情報町民が持つ防災の情報

をいち早く集め、最新の情報を配信できるSNSを活用した伝達の整備を早急に導入すべきと思うが。



H24.8.11 傍示本地区の水害

**Q：スピーカーの計画的な増設は
A：現時点では考えはない**

若園ひでこ 議員



【問】「アラート」による緊急地震速報の伝達訓練実施の書面での通知の範囲は。

【総務部長】町議会議員・区長・自治会長・小中学校長・スピーカー（防災行政無線子局）設置機関・近隣の関係者へ通知している。

【問】保育園や幼稚園にも、同様に通知すべきではないのか。

【総務部長】次回10月1日実施予定の訓練より、保育園や幼稚園・入所施設等に対しても事前の書面通知をしたい、検討したい。

【問】訓練では、スピーカーから音声が生しく流れたとのこと。警報音だけでなく、内容が聞こえなければ訓練は

上手くできたとは言えないのではないかと。

【総務部長】正確に伝わるか、との課題は残っていると考える。

防災ラジオの導入

【問】災害時の多重な情報伝達として、雨や風による情報の消音もなく、情報内容をしっかりと把握できる防災ラジオ導入の考えは。

【総務部長】導入している市町の情報を収集した。先進市町の事例を参考に研究して行きたい。



町内の増設が待たれるスピーカー

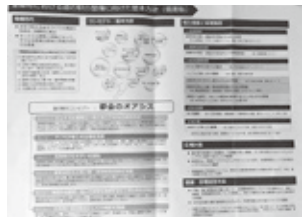
**Q: 道の駅へのパブリックコメントの取扱いは
A: 事業に反対する意見は取り入れられない**



国府田さとみ 議員

道の駅JUNON

【問】PPPについての民間提案を、イニシアチブを以て検討する為に、類似既存施設の経営実態は把握しているか。
【経済建設部長】 いない。
【問】PPP運用専門知識がある担当職員はいるか
【経済建設部長】 町にPF等の知識はあるが、担当課に、これに直接携わった人員はいない。
【問】民間事業者から納得いく提案が無かった場合、撤退もあるのか。
【経済建設部長】 責任ある提案があるときもある。
【問】国道沿いの防災拠点機能を掲げているが、国から要請はあるのか。
【経済建設部長】 ない。
【問】町民を置き去りに



道の駅整備に向けた基本方針

した事業進行はあり得ない。町民への周知、意見提案交換、ワークショップの実施は。
【経済建設部長】 HPや広報、新聞で周知。ワークショップは考えていない。
【問】全ての施策目的は住民福祉向上にあるべき。経営不振により事業者が撤退した時、残った施設と維持管理という、町民の一番大きなリスクをどう考えるか。
【経済建設部長】 今後の中で検討・留意していく。

駐在員・区長・自治会長との意見交換会を開催しました



**日時：平成29年7月28日(金)
14:30~16:30
場所：東郷町議会 全員協議会室**

駐在員会議の後の貴重なお時間を頂き、各地区駐在員、区長、自治会長の皆様との意見交換会を開催致しました。各地区の現状、お悩みなど、多くのご意見、ご要望を頂戴することができました。

意見交換会での主な意見・要望

- 地区の高齢化が進み、毎日の買い物が難しくなっている。移動販売など、日常の一人一人の暮らしの充実を考えてほしい。
- 電柱がないため防犯灯が設置できない箇所があった。通学路なので、対応策を。
- 高齢化にともなう空き家の増加、耕作放棄地の問題に対し有効な施策を。

皆様から頂いたご意見を参考にさせて頂き、今後とも議会議員一同、よりよいまちづくりのため邁進致します。

議会運営委員会

県内研修

議会運営委員会は平成29年7月25日(火)、知立市、幸田町議会を訪れ両議会の議会運営や会派制を学び、東郷町議会の議会運営に資する目的の視察研修を行いました。

知立市議会では、議会運営委員会は本会議において空白を作らないことが重要と力説されました。意見交換で地方自治法、知立市議会委員会条例などを常に用いて発言する委員があり、日ごろ法的根拠をもってきちんと議論されていることが想定されました。会派制については、平成9年導入時に会派室を設置し備品や鍵管理など制定したと詳細にわたる説明がありました。各会派人数構成のバランスがとれており、会派代表者会議が協議調整の場として機能している印象を受け、会派制を十分に生かした議会運営がされていると感じました。

幸田町議会においても、知立市と同じ通告で研修しましたが、意見交換が主なものでした。議会運営委員会は7名構成で、2常任委員会から2名の委員選出であり、



知立市議会

議会運営委員会が実質、会派代表者会議となっていました。東郷町議会と方向性は異なるが、効率的な議会運営には様々な「形」があると感じました。

それぞれの議会によって違いはあつて当然ですが、歴史、規模、土地柄、議員報酬など多くの要素が影響し、違いの大きさを感じました。東郷町議会は両者の中間かなと感じ、知立市議会に近づく努力の必要性を学んだ研修でした。

議会運営委員長 箕浦 克巳

総務経済委員会

県外研修

■埼玉県富士見市役所
7月11日(火)

富士見市役所前に、平成27年4月に開業した「らぽーと富士見」3年目を迎えた経済効果について研修を行いました。「らぽーと」出店自治体人口が一番少ない11万人の富士見市)5年間で市民税が10億円、固定資産税と都市計画税で約9億円が増し、人口も3千人増「らぽーと富士見」293店舗、全てが商工会に新規加入して地元商工業とも連携して、町に活気が起きる間人口も増加傾向。東郷町でも期待したいと思います。



埼玉県富士見市 (7月11日(火))

■埼玉県北足立郡伊奈町役場
7月12日(水)

東郷町と人口・面積が、ほぼ同じの都市近郊の自治体。「BUYいな」運動Ⅱ町内で買物を楽しもう運動。

○町内業者が請負可能な公共工事は、極力町内に発注する。

○町の事業(健康マイレージ、省エネ対策、耐震診断、等)の補助やお祝い金を全て商工会発行のお買い物券で活用。

○町内で車検を発注した場合にお買い物券を助成する。

○官民一体の施策に注目し、自治体内に稼ぐ力を研修できました。

総務経済委員長 加藤宏明



埼玉県伊奈町 (7月12日(水))

文教民生委員会 県外研修

平成29年7月31日・8月1日、委員7名は兵庫県明石市、大阪府河南町で、他の自治体が重点施策として取り組む、子育て・学校教育について研修を行いました。

■明石市役所

明石市の子育て施策の根底に有す、全ての子どもは平等であり所得で線引きする貧困対策では無いとする「子どもを核としたまちづくり」は、数々の子育て支援事業から成っていて、親の事情による不遇な子ども支援策の代表格「里親100%プロジェクト」を始め、保育園諸施策では隣接市を先んじる建設費助成、保育士処遇改善、保育料軽減策など本気度は日本の「子育て標準時」と錯覚する程、中身の濃い内容で、本町も参考にして歩みを更に促す研修でした。



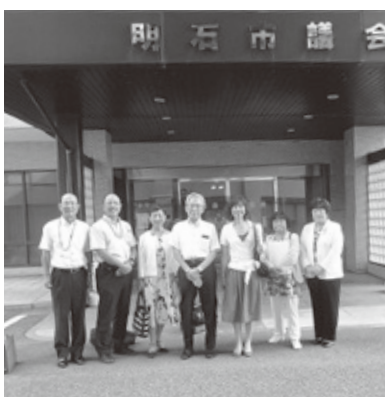
丁寧な説明に耳を傾ける委員

■河南町役場

大阪府の東端、奈良県境の河南町は、60年前に昭和の大合併で4村が合併し河南町が誕生しました。3年前をピークに人口減少に向かう中、1.6万人の人口で小学校5校を2校とする再配置10年計画の最中、難題と立ち向かう行政のご苦労に心打たれました。学区の変更すら大問題となる時代に、学校統廃合を進める難しさは言語を絶する程。

今後各地では避けて通れない事業でもある、本町では直ぐに起きえない恵まれた環境を生かした町づくりを、一層進めなければならぬと痛感しました。

文教民生委員長 加藤達雄



明石市庁舎前にて

議会活性化特別委員会

議会基本条例に関する小委員会

活動報告

当小委員会では、東郷町議

会の「あるべき姿」を示し、「町民と議会との約束」を明らかにするための「議会基本条例」の制定に向け、議論を進めています。議会基本条例は、平成18年に北海道栗山町で制定された後、議会改革の取り組みの一つとして全国に広がりました。東郷町議会では、

制定に向けた検討を本格的に開始するために、昨年4月、議会活性化特別委員会に当小委員会を設置されました。現在、小委員会では条例案の骨子を取りまとめられています。今後、パブリックコメントを行った上で条例案をまとめる予定です。

一般質問などのインターネット録画中継や議会報告会・意見交換会の実施など、開かれた議会に向けて改革を進めてきましたが、議会基本条例は未制定です。

骨子には、議会だよりの発行なども明記しています。議会だよりの発行は当然のようにされていますが、条例で決められているわけではなく、こうしたことも明記しておくことは重要です。

これまで議会内では、議会基本条例が必要という意見とともに、条例を作るよりも改革を具体的に進めることが大事という意見もありました。こうした中、議会基本条例の

平成31年4月の町議会の任期満了までの条例制定を目指します。

議会基本条例に関する小委員会委員長 門原武志

スマホで議会

(会議動画配信)



東郷町議会では、平成25年第2回定例会(6月議会)から一般質問を、平成26年第2回から常任委員会審査を、youtube(インターネット無料動画サイト)にて配信しています。

ご自宅で、お手元で、東郷町議会を「傍聴」できます。

ぜひ、議会を身近にお感じください。



QRコード読み取りアプリで東郷町議会録画映像配信のページを開くことができます。

議会報告会・意見交換会

日時 11月25日(土)
午後7時より

場所 町民会館2階大会議室



多くのご参加をお待ちしています!

表紙の写真

前号から始まりました
「まちではたらくひと」

今回は町内製造業の会社にお勤めの中川さんです。若い女性も多く、働きやすい職場とすることで、小学6年生の男の子を育てながらも、主力メンバーとしてがんばっています。



まちではたらくひと、大募集中!

東郷町議会 議会事務局 ☎0561-56-0754

平成29年12月定例会の日程

11月30日(木)	開会(議案上程)
12月6日(水)	一般質問
7日(木)	一般質問
8日(金)	一般質問
12日(火)	議案質疑
12日(火)	総務経済委員会
13日(水)	文教民生委員会
20日(水)	閉会(討論・採決)

●11月16日(木)午後3時まで受付けた
請願・陳情は12月議会の審査対象と
なります。(議会運営委員会にて上程
判断されます。)

編集後記

今年も全国市町村交流レガッタに参加してきました。議会ポータル部の成績は残念ながら準決勝敗退でしたが、全国ポータル場所在自治体の方々と交流を深められ、ポータルのまちとして全国とつながる大切さを改めて感じました。

さて、今年度から初めて議会だより編集委員となり、思いのほか大変な編集作業を体験し、先輩方が重ねてこられた苦労に思いを馳せています。今後も議会だよりの充実はもちろん、ネットを介した広報広聴など、より多くの方とつながれる手法を取り入れていきたいと思います。

(広報広聴副委員長

石橋直季)

広報広聴委員会

委員長	水川 淳
副委員長	石橋 直季
	新 家 光 江
	加 藤 達 雄
	加 藤 宏 明
	加 藤 啓 二
	若 園 ひ だ け
	箕 浦 克 巳